



かえでゆうびん 11月号



汗ばむ季節もようやく落ち着き、「秋」がやってきました。自宅近くの公園のどんぐりの木は暑すぎた影響かあまり実を熟さず、毎年足踏みのないほど落ちていたのですがどんぐりやポプラの実も収穫が少なく残念です。今年の夏は日本中の山に「熊」が出現し人を襲ったりしている報道がありました。本来、自然の中で過ごしている動物は、木の実がたわわに実る秋に向かってたくさんの実を食して冬眠に向かうのですが、今年は野生の動物たちも自然界の異変に翻弄されてしまい、今後の生態系への影響が心配です。

かえで保育園ではマスカットに引き続き、コシヒカリのお米も昨年以上に収穫できました。ただ、せっかくのお米もめばえのテラスに干しておいた際に雀がやってきてたくさん横取りされたようです。

だいち組と脱穀し、もみすり➡精米をしておいしいおにぎりを食べたいと思います。昨年は精米する際にニコニコ桜保育園に依頼して精米器をお借りしました。だいちの中で役割を決めて保育園までお借りしに行くグループと炊飯器を買うグループなどに分かれて取り組みました。今年もお米にして食べるまでの過程をどうするか話し合ってもらい、精米機を借りに行くか購入するかを話し合ってもらいました。

様々な意見が出たようで A 君は「保育園に貸してもらったらいろんなお友達と出会えるから借りたほうが良い」という意見。B 君はこれからひかりがだいちになったら使うから買って置く」など。

皆で考えて自分の思ったことを伝えたり、人の意見を聞いたりすることがどんどん深まってきています。このような営みは大人が入れば簡単に大人の都合の方法に導いてしまいますが、この小さなことから「あーでもない。こーでもない」と思いを巡らすことで自分の考えも出せるようになってきます。小さいころから知っている仲間と一緒にいろんなことを提案したり形にしたりしながら少しずつ、大人への階段を上がっていきます。今年もだいち組のこどもたちに朝に炊飯器でお米を炊くことを体験してもらっています。「お米」を通じて様々な体験を進めていきますのでこどもたちの様子を見守ってくださいね。

～お知らせ 11月30日(土)のイベント～

- 1・幼児クラス対象 家族の方と一緒に椅子づくり・30名様限定
- 2・物々交換ハザー・・・家庭で使わなくなった子どもの物を違うものと交換して再利用
- 3・乳児クラス対象・・・親子ヨガを楽しむ
- 4・おにぎり握ってみんなで食べよう

詳しくは別途ご案内します。そろってご参加ください。

おねがい

- ・服装
日中はまだ半袖で過ごします。夕方にはトレーナーや上に羽織もので体温調整をします。
- ・下着について
基本下着は綿100%を着用してください。ヒートテックなど化繊のものは不適當です。
- ・紅白帽子・登園帽は週末には持ち帰り、洗濯・点検をしてください。

おしらせ

11月の予定

- ・ 9日(土) かえでフェスティバル アートを楽しみます
(詳しくはお手紙を配布します)
- ・ 12日(火)～12月13日(金) 幼児クラス保育参加
(お手紙を配布します)
- ・ 15日(金) 誕生会
- ・ 19日(火) 浜脇地区青少年愛護協議会(浜脇中学校にて)
だいちぐみが参加します
- ・ 20日(水) ひかり・だいちぐみ いもほりバス遠足(神戸市西区)
*詳細は後日お手紙配布します・20日(月) 避難訓練
- ・ 25日(月) 地域交流(ゆめっこ・ゆめっこわかば・かえで保育園)
*津門中央公園まで出かけます
- ・ 26日(火) 移動動物園
*どうぶつのごはんに野菜や果物をお持ちください。詳細は後日お知らせします
- ・ 27日(水) 消防署立ち合い避難訓練
月例健診
- ・ 29日(金) だいちぐみ園外保育
*詳細は後日お知らせします
- ・ 30日(土) ダンディタイム・かえでカフェによるイベント
10:00～13:00(予定)
- ・ 体操あそび 14・21・28日(木) **7日はお休みです**
- ・ 絵画あそび 11日(月)・25日(月)
*だいちぐみは25日晴天時は地域交流に出かけるためお休みです。
雨天時は絵画を行います。

10月は秋らしい気温の日が少なく、日中は暑いと感じ汗ばむ日が多くありました。そのためこどもたちの遊びの中にもまだまだ水を使うことが多く、草花を使っての色水遊びやままごとのお料理作りや泥団子や泥遊びとたくさんの水を使いながら、過ごしやすい秋を日々楽しみました。いぶきぐみでは花や葉っぱを使って色水を作り、その後、虫眼鏡で色の出来具合を見ることが流行っているようです。虫眼鏡は事務所に置いてあるのですがこどもたちは必ず事務所に「虫眼鏡貸してください」使い終わったら「虫眼鏡返しに来ました」と言いながら入れ物の中を整理整頓してってくれるこどもまでいることにいつもうれしく思っています。普段の生活の中で次への言動を自分自身で気づくこともあれば、友だちの姿をみて気づいていくこともあります。成長していく中で一緒に過ごす家族以外の人の存在は何よりの宝物です。小さな時から長い時間を共に過ごす友だちを互いに心のよりどころとなるような人と人のつながりを大切にこれからも温かい保育を私自身も心掛けていきたいと思ひます。

主幹保育教諭 F

朝晩はお布団の温もりが心地よい季節になりましたね。日中と朝晩の寒暖差もあり衣替えのタイミングが難しい時期が続きましたが、ようやく秋らしい気候となりました。こどもたちのあそびも、泥団子や色水あそびからどのように変化していくのか、楽しみです。春・夏・秋、移り変わる季節と共に、こどもたちもめまぐるしい成長を見せてくれました。今年度から入園されたこどもたちも、それぞれのお部屋だけでなく、園内の様々な場所に興味を持ち、活動の場を広げています。

先日、ふたば組のSくんが大好きな保育者のひざの上に座り、過ごしていました。机の上に腕をつけて嬉しそうに微笑んでいるSくんの姿を、私は向かいの場所からこっそりと眺めていました。安心できる人と一緒にいる喜びや、触れ合っている安心感に満たされているようでした。少しすると、くると後ろを振り返り、後ろにいる保育者と顔を近づけては笑顔を送るSくん、まるで“うれしいね、たのしいね”と伝えているようでした。Sくんの笑顔に答えるように、保育者も優しい笑顔を送ります。それから何度も振り返っては顔を見合わせ、2人の微笑ましいやりとりがしばらく続いていました。嬉しい時だけでなく悲しい気持ちや悔しいこと、ときどきした気持ち…様々な感情を安心して表現できる場所はきっと、こどもたちにとって心地のよい居場所になると思ひます。そして安心できる場所があるからこそ、時々後ろを振り返りながら、新しい世界に一步踏み出すこどもたちの姿を応援していきたいです。

主幹保育教諭 K

先生のメッセージ

先日産まれたと思っていた従姉妹の子ども（Kちゃん）が久しぶりに会うと3歳になっていることに驚きました。久しぶりに会うKちゃんは少し人見知りで、お茶目で、可愛い女の子に成長していました。そんなKちゃんの可愛いエピソードを一つお話します。人差し指を鼻に当て「これはなんの動物でしょう」と突然始まったクイズ。答えは「キリン」。その後も2、3問ジェスチャーをしてクイズを出してくれましたが、どれも大人には思いつかないポーズで誰も正解できませんでした。普段たくさん子ども達と接していますが、子どもたちの発想にはいつも驚かされ、そして楽しませてくれます。これからも子ども達の思いや考えを大切に見守りながらも、一緒に楽しみながら保育をしていきたいと思ひます。

M先生

最近の物価の上昇に伴って、毎日の夜ごはんに頭を悩ませています。

実家で暮らしていた頃は一ミリも考えたことがなかったきゅうり1本の値段、今はどこのスーパーが安いかわかりませんが少しでも安い野菜を目指して色々なスーパーにはしごしたり、保育園のベテラン主婦の先生方に情報をもらったりする中でお母さんへのありがたみを感じる毎日です。そんな毎日の中で私が一番スカッとする瞬間があります。それは、まとめて買った食材を上手に美味しく無駄がなく使い切れて冷蔵庫が空っぽになった時、はしごして回ったスーパーで安い食材に出会ったときです。

その瞬間「よっしゃー！」と誰かと勝負しているわけではないのですが、何かに勝った気分を周りに気にせずガッツポーズをしたくなります。

毎日の保育園の献立も残食がでないよう工夫し、美味しい給食を作っていきたいと思ひます。

N先生

保護者からのエピソード

我が家でわらべうたを歌うと、「それ知ってるよー」と全身で喜んで反応してくれる息子。その様子から、いつも先生方が楽しませてくださっている様子を感ずることが出来ます。保育園の様子を自ら話してくれる日も楽しみにしつつ、彼の今できる精一杯のリアクションとのコミュニケーションを楽しみたいと思ひます。

めばえ組 かなこさん

入園してからずーっと泣きながらバイバイしていた娘も4月から弟が入園し2人で登園することで笑顔でバイバイできるようになり、弟も大好きな姉の真似っこに大忙し、日々成長を感じています。これからも2人で仲良くたくさん遊んで、学んで、いろんなことにチャレンジしてもらいたいです。

めばえ組・いぶき組 みきさん

長女は最近創作意欲がすごく、家でもいろんな物作りに挑戦しています。作ったものを見ると感性が豊かだなあと感心させられます。次女は保育園で覚えてきた歌を家でよく歌ってくれます。長女もそういえばこれ歌ってたなあと懐かしくなる歌もあり、感慨深い気持ちになります。毎日保育園でいろんなことを学んできてくれて嬉しいです。

つぼみ組・だいち組 さきさん

だいちぼうけん日を楽しみにしていた息子は、それにかかわる話を準備が始まった時位から、毎日お話ししてくれました。また必死にエッフェル塔の画像を探したりオリンピックの新聞記事を切り抜いたり、歌を練習したり。全力で保育園生活を楽しむ姿にこちらまで楽しい気持ちになります。

だいち組 ゆきさん

先日の保育参観では普段見ない息子の姿を見れて新鮮な気分でした。家では甘えまくりの息子ですが、保育園では自分で食べて、着替えも自分で取って、自分で脱いだりも出来るなんて…とびっくりしました。「すごいね！」と声をかけると「ン！」と誇らしげな姿が可愛かったです。家でも少しずつやってみようと思ひます。

ふたば組 ひかるさん

今は下水道作りに夢中のように「穴を掘ってもっと深くするんだ！」「赤ちゃんが落ちないように柵もしているんだよ」と自分のことだけでなく小さいクラスのお友だちや周りのことも少しずつ考えながら過ごしていることに成長を感じます。自分のやりたいことを見つけて毎日楽しそうにしている姿をお迎えの時にこっそり見るのが楽しみです。

ひかり組 たかこさん

ディズニーにどハマりしている息子。担任のK先生もディズニー好きということで、K先生のディズニー旅行にキーホルダーに扮して同行しようと思ひましたが、待ち合わせ場所・時間を確認しておらず当日あたふた。保育園に電話して聞いて！と本気モードがとても可愛かったです。いつかディズニーでばったり会いたいです。

ひかり組 みきさん

10月の子どもたちのようす



ほうれん草と小松菜の苗を植えました。保育者と一緒に2、3回水やりをすると、次の日には園庭に出ると自らジョウロを手に取り、水を入れ水やりをする姿もありました。毎日水やりをする中で葉っぱが大きくなる様子を、一緒に観察していきます。



毎日園庭に出る前に、朝の集いを始めました。保育者が手遊びや絵本を読み始めると、少しずつ保育者の近くに集まってくるようになりました。一人ずつ名前を呼び、「はい」と手をあげて返事をするなど、保育者とのやり取りを楽しんでいます。



10月は園庭に咲いている花を使った色水遊びがお気に入りでした。落ちていた花を自分で探し、「ぐるぐる」「まぜまぜ」とすりばちでこすると、とてもきれいな色水に。様々な種類の花を使い、赤や紫など色の変化に驚きながら楽しんでいます。



先月に引き続き、ままごと遊びが盛り上がっています。皿に盛りつけて、スプーンで食べるまねっこを楽しみ今度は人形に食べさせてあげようとしています。また、人形をイスに座らせて、「はい、りんごだよ」「どうぞ」と沢山話しながら、お世話遊びとままごと遊びを自分の体験からじっくり楽しんでいます。



先月、てるてるぼうずを作りました。好きな色の紐を選び、顔を描くペンの色も自分たちで決めて、顔を描き、作っていきました。出来上がったてるてるぼうずを見ながら「てるてるぼうず てるぼうずー あーしたてんきにしておくれー」と歌い楽しみました。また、完成して飾ってあるてるてるぼうずを見て、嬉しそうににこにこしている姿も見られました。



園庭で遊んでいると、「せんせいみてー」と子どもたちが拾ったものを見せにきてくれることがよくあります。最近はどうぐりを見せに来てくれることが多く、秋を感じます。「どこかなー」とどうぐりを探すことを楽しんだり、「ここあながあいてるー！なんでかな？」と観察することを楽しんでいます。





アイスクリーム作り ～第2弾～

保育者と栄養士が作るいちごアイスクリームを、おいしそうに見つめながら一緒に混ぜる素振りをしてみたり、匂いを嗅いだりして楽しみました。おやつ時間にペアのひかり組・だいち組にアイス屋さんとして渡しました。大好きな年上のお友だちに渡すことができた子どもたちは、嬉しそうな表情でした。次はどのようなお店屋さんをするか子どもたちと一緒に考えたいと思います。



ひかり組の子どもたちが買ってきてくれた大根の種で、大根を育てることになりました。畑に雑草がたくさんあったため、みんなで雑草を抜きました。「根っこみえたよ」「大根さんのおうちできるかな」と積極的に雑草抜きをしました。後日、大根の種をまき、「おおきくなりますように」と水やりをしました。



「このしたには、ほうせきがあるんだよ」と目をきらきら輝かせて教えてくれた子どもたち。奥深く掘ってみると、黒くて固い、素敵な宝石(石)を発掘しました。「もっとしたには、ちかてつがあるんだよ」「きょうりゅうのほねも、ねむっているかもしれない!」とワクワクした様子で穴を掘りました。次はどんながみつかるとか楽しみです。



昼食前に行っているひかり会議。自分の想いを伝えたり、友だちの話をじっくり聞くなかで、毎日様々なアイデアが浮かんでいます。今回はブロッコリーとカリフラワーの栽培を始めることにしました。「サラダパーティーをしたい!」「スープにも入れて」と育てる前から、収穫後にどのようにして食べるのかワクワクした気持ちでいっぱいです。ホームセンターにブロッコリーとカリフラワー、そしてヒヤシンスの苗、いぶき組からのおつかいで、野菜の種も一緒に買い物に出かけました。いよいよブロッコリーとカリフラワー、そしてヒヤシンスの物語が始まります。



～稲を刈ったよ～

5月に田植えをしたお米が、台風や大雨、猛暑など過酷な状況でもすくすく育ち、ついに収穫に時期を迎えました。お米をくださったおっこ山保育園に「大きく育った様子を伝えたい」と手紙を書いたり、稲の高さがどのくらい大きくなったかをメジャーで測って高さを比べる等、お米を通して学びが深まりました。11月はおっこ山保育園でお世話してくれているサツマイモをひかり組と一緒に掘りに行くことも楽しみにしています。





～パリの街づくり～

皆でエッフェル塔を作った経験から、違う形でもパリを表現してみようと盛り上がっています。折り紙を3枚組み合わせたエッフェル塔作りや、紙粘土でモンサンミッシェルを細かく表現しようとしています。複雑で難しい作業で「もうつかれた～」と呟くこともありますが、最後まで諦めずに丁寧に作り上げています。難しくてもやり遂げ、達成感も味わえるよう関わっていきます。



だいち組の「ぜったいできるだいぼうけんの日」の夜のお楽しみ『お化け屋敷』をいぶき組、ひかり組の友だちにも体験してもらおうとだいち組によるお化け屋敷が開かれました。だいち組がおばけ役になることを楽しみにしていましたが「お化けが怖い子いないかな」「最後に合言葉言えるかな？」と自分たちが経験したことを思い出し、ペアのお友だちのことを考え始めました。暗くならないようにライトをつけたり、行き先をおばけ役が教えてあげたりと優しさあふれるお化け屋敷となりました。お化け屋敷で使われていたお面を作りながら「だいちさんになったらいろんなことができるね」と“だいちさんになったら”と憧れをもち楽しみにする声も聞こえてきます。



お台所から



今月の食育活動

かぼちゃ

大きな大きなかぼちゃをめばえさんとふたばさんに紹介しました。重くてごつごつのかぼちゃを見て「大きいね」「おもーい！」と頑張っ一人で持てるか挑戦している子もいました。めばえさんは大きなかぼちゃを触って楽しそうにしている子やおもしろそうに見えたのかよだれを垂らしそうになっている子もいました。「美味しく作るから楽しみにしててね」と次の日にかぼちゃの煮物が献立でできると美味しくたべてくれていました。



さつまいも

さつまいもごはんがお昼に出る前の日に乳児クラスにさつまいもを紹介しました。ふたばさんでは「さつまいも、、さつまいも、、」と唱えながらおままごとで使っているおもちゃのさつまいもを持ってきてくれて不思議そうにどちらも見つめていました。めばえさんは初めてみるさつまいもに興味津々な様子。「とれたよ！」とさつまいもを掘った時のように嬉しそうに持っている子もいました。



11月の献立・予定している食育活動

暑さも落ち着き、やっとおとすれた「秋」、おいしいものをたくさん食べてもらいたいと思います。食育では白菜やキャベツの葉っぱをちぎったり、さつまいもなどの旬の食材や野菜に触れてもらう機会を作れるよう献立にも反映しています。芋ほり遠足でとってきたやきいもを使って美味しいごはんがたくさん変身させたいと思います。小さいですが「まつたけ」にもあえる予定です。お楽しみに！

11月のあそびへの思い

めばえ

日中も風が涼しくなり外遊びや散歩も気持ちの良い季節がきました。少しずつ生活の流れも理解してきています。保育者が園庭に出る準備を始めると、遊んでいた玩具と一緒に片付けようとしたり、カゴから自分の帽子を取って被ろうとしたりと“自分でしたい”の気持ちが普段の生活の中でも感じられます。服の着脱や食事時の椅子やエプロンを片付ける様子をじっと見守っていると、自分でできたことを笑顔や拍手をして喜び姿も増えてきました。また、指をさして“あっちに行きたい”両手を合わせて“ちょうだい”首を振って“うん”“いや”など気持ちを伝えてくれる姿もたくさん見られます。そんな子ども達の思いを大切にしながら、心のやり取りや言葉のやり取りを楽しんでいきたいと思えます。

ふたば

過ごしやすい気候になり、午前午後と園庭で過ごす時間も増え外あそびを楽しんでいます。秋も近づき、園庭にはどんぐりや落ち葉など秋の自然が沢山広がっています。どんぐりのつるつるとした感触や、柔らかい葉っぱと乾いた葉っぱ、雨上がりの湿った土、、、子どもたちにとっては全てが「おもしろい！」の対象になっているようで、キラキラ目を輝かせて楽しんでいます。

最近は覚えた言葉を友だち同士で話したり、見たもの・感じた事を一生懸命に言葉で伝えようとしています。保育者がいなくても、子どもだけで「おさんぽいこう」「お腹すいたね」「あっちにちょうちょいるよ！」とどんどん会話を繰り返しています。話すことって楽しい！思いが伝わって嬉しい！をどんどん感じられるように、子どもたちそれぞれの思いを守りながら受け止めながら会話を楽しみたいと思えます。

つぼみ

11月になり、長い夏を終えつぼみ組の子どもたちも自分自身でできることがたくさん増えてきました。今までは着換え用の服をあらかじめまとめて用意してあるものを持ってきて着替えていましたが、10月からは自分でロッカーの中から着たいものを選んでいきます。遊びでもピースの多いパズルに挑戦したり、線路の繋げ方を工夫したりなど以前より集中しながら遊びを楽しんでいます。友だち同士の関わりも会話を楽しんだり、困っている友だちを助けたりする姿が増えていきます。これからも子どもたちの自分でやりたい気持ち、まだ甘えたい気持ち、どちらも尊重しながら子どもたちの成長を見守っていききたいと思えます。

いぶき

過ごしやすい天候になり、園庭で遊ぶ機会が増えました。子どもたちは鬼ごっこをして思い切り体を動かしたり友だちと泥だんごを作ったりして遊んでいます。室内ではちらちゃん(チンチラ)・すなねこちゃん(すなねこ)・ちゃんちゃん(カワウソ)のぬいぐるみたちと遊ぶことが好きな子どもたち。名前を呼んでお世話をしたり、友達とぬいぐるみの気持ちを想像してなりきって遊んだりしています。いぶきタイムの歌の時間では、「ちらちゃんたちに聴かせてあげたい」とみんなで愛着をもって大切にしています。ぬいぐるみや人形にも愛着をもって関わることで、生き物や周りの物に当たり前に優しく接する事に繋がると思えます。遊びや生活の中で、少しずつ他者を思いやる気持ちを育てていきたいと思えます。

ひかり

“ぜったいできる！だいぼうけんのひ”を迎えるだいちさんに、お守りをプレゼントすることにしました。子どもたちで話し合い、どんなぼうけんにも乗り越えられるように…と紙風船と歌「にじ」をプレゼントすることにしました。「だいちさん、だいぼうけんがんばってね。だいすきだよ」とあたたかい言葉を伝えたり、ペアのだいち組のお友だちに内緒で作れるように「すきないろなあに?」「ないしょだからね」と言いながら、大好きなだいちさんにお守りを渡せる日を楽しみに作りました。紙風船は折り紙が得意なKちゃん、Yちゃん、Iちゃんが中心となってひかり組の子どもたちに折り方を一つずつ丁寧に教えてくれました。みんなで紙風船を作ったことから、折り紙への興味へと繋がり、今では手裏剣やハート、葉っぱなど様々な形の折り紙を作るようになりました。

だいち

10月5日の「ぜったいできるだいぼうけんのひ」では、子どもたちが前々から準備を進めてきたことが形になり、保育者とだいち組15人、そして保護者の方々と充実した1日を過ごすことができました。少しドキドキするプログラムもありましたが、チームの友だちが「大丈夫だよ」とぎゅっと手と心をつないで乗り越えることができました。子どもたちも、この日を経たことで自信が付き、「ぜったいできるもんね！」と合言葉のように唱えて、新しいプロジェクトを進めて行こうとしています。今月は小学校に音楽会の練習風景を見に行ったり、園外保育に行ったりとさらにだいぼうけんは進んでいきます。

はまかせ

暑いから涼しい風になり心地よい季節になりました。春から続いている色水遊びは、色が出やすい草花を選んだり、こぼれないようにゆっくり注いだりと繰り返し遊んできたからこそ感覚を友だちと共有する姿が見られるようになってきました。再ブームとなっている泥団子作りは、泥だんごを作りやすい場所、さら砂が集まりやすい場所に座り優しく撫でながらじっくり作り込んでいます。作る時間が長ければ長いほど愛着がわき、両手でそっと優しく眺める姿も見られます。

